

# 令和3年度「山形学」フォーラム 実施報告書(HP版)

- ◆開催日時：6月27日(日) 13:30～16:30
- ◆会場：遊学館ホール
- ◆テーマ：「山形にも迫る環境異変～先人の知恵に学ぶ～」
- ◆内容：
  - 13:30～13:45 開会・「山形学」オリエンテーション
  - 13:45～14:45 基調講演：「地球温暖化と私たちの未来」  
講師：江守正多氏（国立環境研究所 地球システム領域 副領域長）
  - 14:45～14:55 休憩
  - 14:55～16:30 パネルディスカッション  
「山形にも迫る環境異変～先人の知恵に学ぶ～」  
パネリスト：栗田邦明氏（山形地方気象台次長）  
：遠藤宏幸氏（山形県農林水産部農業技術環境課  
研究調整・スマート農業普及推進専門員）  
コメンテーター：江守正多氏  
コーディネーター：松尾剛次氏（「山形学」企画委員）
- ◆参加者数：会場62名、オンライン22名
- ◆主催：公益財団法人山形県生涯学習文化財団 後援：山形県教育委員会
- ◆当日の様子

・江守氏は、温暖化の原因は人間活動によるものであることや今後温暖化を阻止できなかった場合のリスクなどを説明され、「脱炭素化」には、社会の「大転換」が必要なこと、そのために一人ひとりが常識を変えていくことが必要と強調されました。栗田氏には、地球温暖化と山形県内の気候変動との関係や将来の気象予測等について、遠藤氏には温暖化に対応した農作物の研究開発などについてお話いただきました。地球を守り、山形に暮らし続けるために、いかに環境が大切か改めて学ぶ大変有意義な講座となりました。

## \*参加者の声\*

- ・江守先生の科学的データに基づく具体的でわかり易い流れるような説明は新鮮だった。
- ・環境の変化を日々感じているところで、タイムリーなテーマでよかったです。
- ・生活に直結するテーマで、とても関心があります。エネルギーという大きな課題でもあります。今回の学びを活かし、学習をさらに深めたい。
- ・温暖化は現代の私たちの活動によりもたらされていることが明らかと学びました。排出を少なくする生活をひとつでも実践していきたいと思いました。
- ・農業の分野では環境の変化に対応することで新しい農水産業が始まるかもしれないという、前向きなお話も伺って面白かったです。
- ・世界的な視点での環境問題と、私たちにも実感として受け止めやすい山形県の視点とで、興味深く視聴しました。



「山形学」オリエンテーション 「山形学」企画委員



コーディネーター 松尾氏



会場の様子



江守氏のオンライン講演



パネリスト栗田氏



パネリスト遠藤氏